



▶子育てはひとりじゃできない

みんなで応援しようよ!

1月22日、保健センター一帯では、「子育てフェスタ」が開催されました。

「つながり・ぬくもり・やくわり」をテーマとした基調講演や、多世代交流・食生活・地域のつながり・企業支援の4つの文科会に、市内外から約300人が参加し、次代を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つための環境づくりの事例発表や講義に、熱心に耳を傾けていました。

会場内には、子どもレストランや、市内の子育てを支援する団体のバザーテントが立ち並び、寒さの中、親子で冬の味覚を楽しんでいました。

また、子どもの体験広場では、踊るへびや万華鏡などの工作や、かいこの繭から生糸をつむいだり、ピエロのパントマイムショーなどのコーナーに、子どもの笑顔があふれていました。



◀ぺったんぺったん おもちつき

旧正月も近づいた1月22日、大島東幼稚園で「もちつき」が行われました。10人の子どもたちは家族の助けを借りながら、重たい杵を両手でしっかりと握り、力一杯に振り下ろすと、真っ白なもちがつきあがりました。

教室では、イチゴとあんを中に包んで「いちご大福」にしたり、南天の実を目に、葉っぱを耳にあしらって「ウサギのお餅」をつくったり、和気あいあいとおもちを丸めていました。



▶思いを込めたこの一筆!

新春を迎えてまもなくの1月5日、中央小学校で「書き初め競書会」が行われました。参加したのは市内の小・中学生270人。「希望の光」や「元氣な子」など、学年ごとに設けられた課題を練習した後、真剣な表情で清書に挑んでいました。

なお、この作品は、1月23日から29日の間、笠岡商店街で展示され、買い物に訪れた人たちに披露されました。



◀交通事故のない安全なまちにしよう

1月17日、あんしん歩行エリアワークショップが市民会館で行われました。

これは、平成15年に番町を中心とした地区が、交通事故が多発する地区で歩行者などが安心して通行できる対策を行う「あんしん歩行エリア」に指定されたことを受け、警察署員や地区民などが危険箇所とその対策を話し合ったもの。参加者は危険地区に印を付けながら、交通標識を設置するなどの具体的対策について意見交換を行いました。

市などでは、この日出された意見をもとに、平成18年度以降に危険箇所の対策を実施することになっています。

